

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## Cantor Fitzgerald, L.P.（証券コード：－）

### 【新規】

自国通貨建長期発行体格付 格付の見通し	BBB+ 安定的
------------------------	-------------

## BGC Partners, Inc.（証券コード：－）

### 【新規】

外貨建長期発行体格付 格付の見通し	BBB+ 安定的
----------------------	-------------

## NEWMARK GROUP, INC.（証券コード：－）

### 【新規】

外貨建長期発行体格付 格付の見通し	BBB+ 安定的
----------------------	-------------

## ■格付事由

- (1) Cantor Fitzgerald, L.P. (CFLP) は、米国ニューヨークに本社を置き、金融サービスを提供するパートナーシップ制の非公開有限責任会社。BGC Partners, Inc. (BGC) および NEWMARK GROUP, INC. (Newmark) は、CFLP の子会社。BGC は業界を主導するグローバルなホールセール金融仲介業務を担い、Newmark は米国を中心に広範な商業不動産仲介やサービス業務を行っているグループの中核会社。JCR は、CFLP のグループ信用力を「BBB+」とみている。これは、米国を中心にヨーロッパ、アジアなどでの強固な事業基盤、金融仲介業務に徹した低リスク資産と低レバレッジの事業モデル、手数料による比較的安定した収益力、潤沢な流動性などを反映している。他方、市場環境に影響を受けやすい事業であることや経費率が高いことなどにグループ信用力は制約されている。CFLP は、主要子会社の議決権の過半数を有しており、その支配力などを考慮して発行体格付はグループ信用力と同水準とした。自国通貨建長期発行体格付は、従来から JCR が付与している外貨建長期発行体格付と同水準としている。BGC と Newmark は、CFLP がそれぞれの議決権の過半数を有し、グループ収益への寄与度が高いことから、発行体格付はグループ信用力と同水準としている。20 年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて、金融市場のボラティリティが高まる中で取引量が増加していることから、BGC の金融仲介業務は収益の拡大が見込まれる。一方、商業不動産市場では新たなリース契約や契約の更新、売買の取引量が減少しており、Newmark の商業不動産仲介業務の収益への下方圧力となっている。流動性の高まりを背景に投資銀行部門のレポ取引の拡大なども見込まれ、20/12 期のグループ業績は堅調に推移すると JCR はみている。
- (2) グループは、45 年にバーニー・キャンター氏とジョン・フィッツジェラルド氏により創設され、現在では世界有数の金融グループの一つとなっており、キャピタルマーケットおよび投資銀行、ホールセール金融仲介、不動産仲介と金融の 3 部門から構成される。CFLP の会長と CEO を務めるハワード・ルトニック氏は BGC でも同職を兼ねており、Newmark では会長のみを務める。Cantor Fitzgerald & Co. (CF&Co) は、CFLP の非公開完全子会社であり、米国でキャピタルマーケットと投資銀行業務を行う米国規制下のブローカー・ディーラー。キャピタルマーケットおよび投資銀行は、ディストリビューションなどの市場業務に加え、ヘルスケアなどに特化したミドルマーケットに注力する投資銀行業務も行っている。また、連邦準備銀行を通じて、米国債を直接取り扱う 24 社のプライマリーディーラーの 1 社でもある。一方、

ホールセール金融仲介業務を行う BGC と不動産仲介と金融業務の Newmark はともにナスダックの上場企業。グループは、この他にも市場地位と事業規模の強化のために、専門性の高い小規模で多様なブランドを保有している。グループの年間金融取引量は 330 兆米ドル、世界 22 カ国に 150 の事業所を有し、従業員は 12,500 人に達する。

- (3) グローバルなホールセール金融仲介業務には、広範なネットワークの構築が重要となる。グループは米国と英国を中心にグローバルなホールセール金融仲介業務を展開し、顧客数、取引量ともに世界有数の規模を誇る強固な事業基盤を有する。多様な金融商品を音声や電子取引プラットフォームを通じて仲介している。キャピタルマーケットおよび投資銀行から始まった事業は、BGC を通じたホールセール金融仲介業務や買収した Newmark の商業不動産仲介やサービス業務の強化などにより収益の拡大と分散を図ってきた。
- (4) 主に仲介業務を行うグループは、BGC と Newmark の上げる手数料収入が収益の源泉である。取引量が増加する中、グループの収益は近年拡大傾向にある。また、商業不動産仲介による手数料収入は Newmark 買収後の伸びが顕著であり、収益全体に対する寄与度が高まっている。一方で、収益に対して金融費用以外の費用が高く、利益の圧迫要因となっている。損益分岐点がやや高いことから、市場環境の悪化による取引量の減少が収益に与える影響には一定の注意を要するものの、現状、収益の拡大が奏功し比較的安定した収益力を確保しており、今後も一定水準の利益を計上するとみている。
- (5) 19/12 期末の自己資本比率は 7%と格付比較でやや低いものの、ネットレバレッジは 6.7 倍に維持されている。仲介業務に特化していることからリスク資産の保有は少なく、リスク管理も保守的に行われている。資金調達面では、借入額は少なく、銀行借入のほかシニア債の発行による長期の資金調達が中心である。現預金に加えて、クレジットラインの未引出し枠も十分な金額を有しており、潤沢な流動性を確保している。

#### 発行体：Cantor Fitzgerald, L.P.

パートナーシップ制の非公開有限責任会社。主要子会社の議決権の過半数を有しており、その支配力などを考慮すると発行体格付はグループ信用力と同水準としている。自国通貨建長期発行体格付は、従来から JCR が付与している外貨建長期発行体格付と同水準とした。経営はジェネラル・パートナーを中心に行われ、主要子会社の役員も兼務している。

#### 発行体：BGC Partners, Inc.

ホールセール金融仲介業務を担うグループの中核会社のひとつ。CFLP が議決権の 60%を有し、19/12 期グループ収益の 29%を占めることから、発行体格付はグループ信用力と同水準としている。04 年に子会社化された後、ブローカー・ディーラーや機関投資家との間において金融商品取引の仲介業務を行うだけでなく、音声と電子を融合した流動性システムを提示している。「Fenics」は、完全な電子取引プラットフォームだけでなく、データの結合やソフトウェア、取引後のサービスまで提供している。13 年には、ナスダックへ債券電子取引のプラットフォーム「eSpeed」を売却した。米国、英国を中心に世界的な営業基盤を有し、19/12 期の収益は、前期比 8.5%増の 21 億米ドルを記録するなど堅調に推移している。20/12 期第 1 四半期の業績は、3 月以降の金融市場における取引量の拡大を背景に、収益は前年同期比 11%増の 6 億米ドルとなった。流動性、自己資本などは比較的高水準を維持している。

#### 発行体：NEWMARK GROUP, INC.

商業不動産仲介やサービス業務を担うグループの中核会社のひとつ。CFLP が議決権の 58%を有し、19/12 期グループ収益の 35%を占めることから、発行体格付はグループ信用力と同水準としている。11 年に BGC に買収された後、18 年までは同社の子会社だったが、スピノフを経て同社との資本関係は解消され

ている。CEO は、バリー・ゴーン氏。米国中部および東部、ニューヨークとカリフォルニアに強固な事業基盤を有し、商業用不動産の所有者、投資家、入居者に対してフルサービスを提供している。また、政府支援企業であるファニーメイ、フレディマックのプログラムによる集合住宅用ローンの組成や販売も行っている。スピンオフ後も業績は堅調を維持しており、19/12 期の収益は 8.3%増の 22 億米ドルとなった。20/12 期第 1 四半期の収益は前年同期比 8.1%増の 4.8 億米ドルとなったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により 3 月半ばからは商業不動産のリースおよび売買の取引高が減少しており、JCR はその業績への影響を注視していく。流動性、自己資本などは比較的高水準を維持している。

(担当) 増田 篤・利根川 浩司

## ■格付対象

発行体 : Cantor Fitzgerald, L.P.

### 【新規】

対象	格付	見通し
自国通貨建長期発行体格付	BBB+	安定的

### 【参考】

外貨建長期発行体格付 : BBB+      見通し : 安定的

発行体 : BGC Partners, Inc.

### 【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	BBB+	安定的

発行体 : NEWMARK GROUP, INC.

### 【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年5月29日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：内藤 寿彦  
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「証券」(2014年5月8日)、「不動産」(2011年7月13日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) Cantor Fitzgerald, L.P.  
BGC Partners, Inc.  
NEWMARK GROUP, INC.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル